

## 3-3 家棟川

視察日：平成29年10月24日(火)

家棟川は野洲市の85%以上を集水域としており、三上山の一部のみが野洲川に注ぎ込んでいる。祇王井川と童子川周辺の田んぼが野洲川から引いた水が注ぎこんでいる。



### 上流部 (希望が丘)

山間部より流れ出る箇所を確認を行った。この箇所では年4回、生態調査を実施しており、ハイジャコが多く見られる。当日はいつもにもまして透明度が高く、多くのハイジャコが見られた。

### 国道8号付近

過去、天井川であった名残が見られる。

### 東込田川・中ノ池川合流点

家棟川支流となる中ノ池川、東込田川の合流点である。

### 中ノ池川落差工

ピワマス魚道を先週18日に設置した。昨年は今の時期、毎日のようにピワマスの遡上が見られたが、当日は残念ながら見られなかった。

### 童子川・中ノ池川合流点

一本橋経由で合流点を車窓から観察。一本橋では、いつもは透明度も高く、タナゴが見られ、生物多様性も高いため、まるで天然の水族館のようであるらしいが、当日は台風の影響で濁り水のために何も観察できなかった。

### 家棟川河口

家棟川は元々、ヨシの中にごみがひっかかっていたり、不法投棄が多かったりで、ごみの多い川であった。15年程前からごみ拾いを実施していたが状況はよくなり、ごみの啓発を目的として、NPO法人家棟川流域観光船をスタートし、3年位続けるとごみがなくなった。この取組みにより、知事賞を受賞した。今は、エコ遊覧船のこぎ手不足と水位が下がりエコ遊覧船が運行しにくくなったのが課題である。昔は堰があり、その時は上澄み水だけが流れ込むため、深さ(水位)があったが、今は堰がなくなったためヘドロ等が琵琶湖まで注ぎ込み、あやめ浜のしじみもとれなくなった。当日は、台風の影響で10年に1度位の水位の高さであった。が、現在は金勝川の低床化により落差は小さくなっている。

